

和歌山

あなたと

県

をつなぐ広報紙

県民の友

5月号

No.957
平成30年[2018]



県政最前線

がんから命を守る

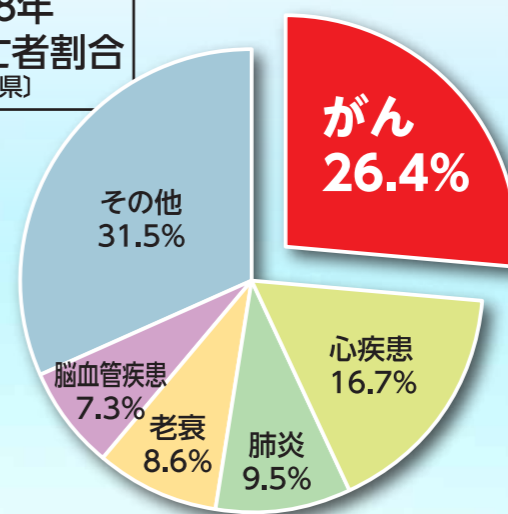
がんから命を守る

「がん」は、生涯のうち2人に1人がかかると言われています。和歌山県でも、年間3千人を超える方ががんで亡くなり、昭和54年から死亡原因の第1位となっています。がんによる死亡者を減らすためには、県民一人ひとりが、がんについて正しく理解することが重要です。

県では、がん対策を重要課題と位置づけ、議員提案条例である「和歌山県がん対策推進条例」や「第3次和歌山県がん対策推進計画」に基づき、県民の皆さんが、がんを知り、がん向き合い、がんに向き合えることのない社会の実現をめざし、『予防・検診・医療・緩和ケア・相談支援』など総合的ながん対策を進めていきます。

平成28年 死因別死亡者割合 (和歌山県)

出典:平成28年 和歌山県 人口動態統計



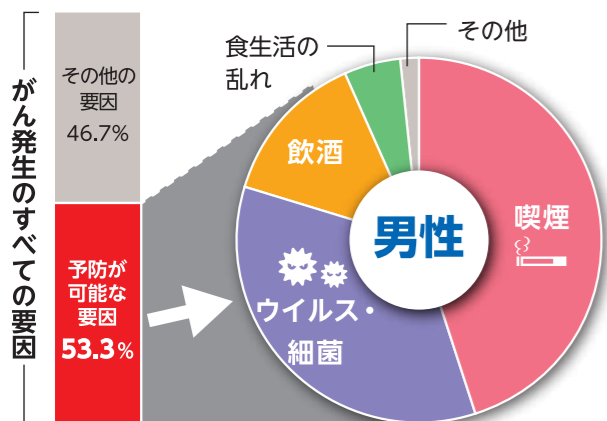
健康づくりに取り組む加太地区の皆さん(和歌山市)

がんを知りがんを予防

近年、がんの研究が進み、がんの発生を高める要因と減少させる要因が次第に明らかになってきています。がんを予防するためには、たばこを吸わないことをはじめ、偏らずバランスの良い食事や節度のある飲酒、継続的な運動習慣、適正な体型維持など、生活習慣に気をつけることが重要です。

県では、県民の皆さんの生活習慣の改善や感染に起因するがん対策を推進します。

日本における 主ながんの 要因



出典:国立がん研究センター「科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」より作成

がんのリスク評価

がん種別	リスク要因											
	喫煙	飲酒	塩分	肥満	肉類	熱飲食物	感染症	野菜	果物	大豆	緑茶	運動
胃がん	●		●				●	★	★		★	
肺がん	●						●		★		※1	
大腸がん	●	●		●	※2					★		★
乳がん	●			●						★		★
子宮頸がん	●						●					
食道がん	●	●				●		★	★			
肝がん	●	●		●			●					

国立がん研究センター「科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究」を一部改変 ※1女性 ※2加工肉/赤肉

ウイルス・細菌由来のがん

ウイルス・細菌の感染は、予防が可能ながんの要因として、男性は喫煙に次いで2番目に、女性は最も大きな割合を占めています。肝炎ウイルス(肝がん)やヘリコバクター・ピロリ菌(胃がん)、ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)などは、感染によってがんにかかるリスクが高まりますので、感染を防ぐことや感染の状況に応じた対応が重要です。

肝炎ウイルス検査を受けましょう!

肝がんの8割は肝炎ウイルスが原因です。県では、県内保健所や協力医療機関などにおいて、B型・C型肝炎ウイルス検査を無料で実施しています。また、検査の結果、陽性であった方が、早期に治療を開始できるよう、必要なフォローアップや初回精密検査および定期検査費用の助成などを実施しています。 ※詳しくは、保健所や市町村へお問い合わせください。



iPhone



Android

アプリのダウンロードはこちらからできます。

運動を継続するために

県では、県民の皆さんに運動習慣を身につけていただけるよう、自治会や個人で参加できる「みんな実践!健康づくり運動ポイント事業」を実施しています。自動的に歩数のカウントされ、手軽に運動管理ができるスマートフォン向けのアプリを配信していますので、ぜひご参加ください。

詳しくは、専用サイト「わかやま健康ポイント」をご覧ください。

清水辰見さん
 地域における健康に関する啓発や支援などを行っています。重要な活動の一つは、健康診断やがん検診の受診勧奨です。さまざまな機会を捉えて声をかけています。が、現役世代のがん検診の受診者が少ないです。「もっと早く検診を受けておけばよかった。」という言葉をよく聞きます。今まで受診しなかった方が一人でも多く受診してもらえよう、これからのがんはっていきたいです。



清水辰見さん
 すさみ町健康推進員

がん検診を受けましょう！
 がん検診は、お住まいの市町村で実施しています。費用には市町村の補助があり、少ない自己負担で受けることができます。なお、働いている方は職場で受けられる場合もありますので、職場の担当者にご確認ください。
 また、がん検診で精密検査が必要と判断された場合は、必ず精密検査を受けましょう。



市町村のがん検診

胃がん

胃部エックス線検査
レントゲンで胃の小さな病変を見つける検査
胃内視鏡検査
胃カメラで胃の小さな病変を見つける検査

肺がん

胸部エックス線検査
レントゲンで胸の病変を見つける検査
※喫煙者を中心に喀痰(かたん)細胞診も行います。

大腸がん

便潜血検査
自分で採取した便に混じった血液の有無について調べる検査

子宮頸がん

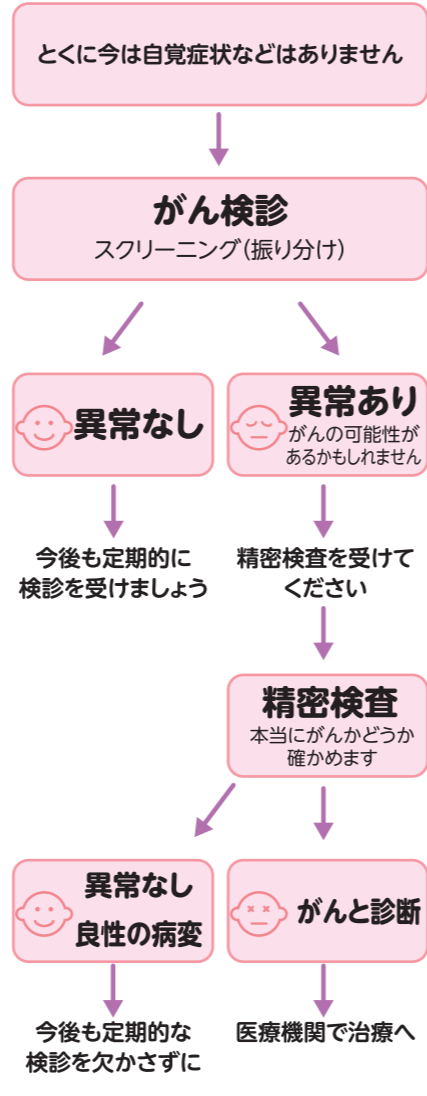
視診、子宮頸部の細胞診と内診
子宮頸部の細胞を採取し、異常な細胞がないかを調べる検査
※検査時間は15分程度。痛みはあまりありません。

乳がん

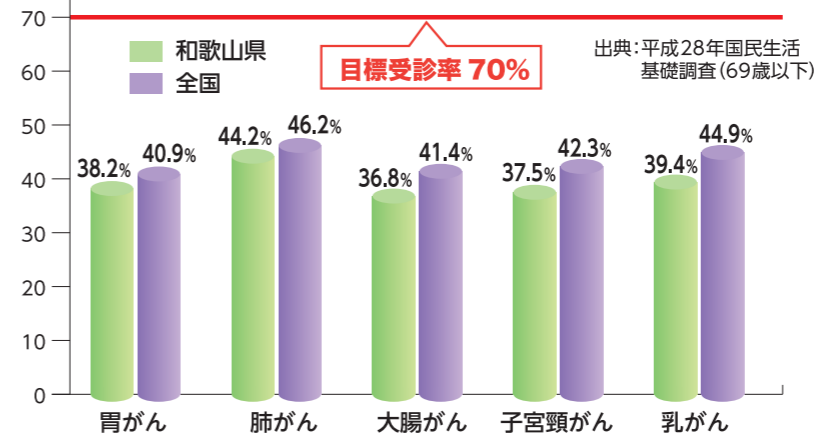
乳房エックス線検査(マンモグラフィ)
マンモグラフィにより、小さなしこりを見つける検査

対象の方は、原則、加入保険の種別に関係なくお住まいの市町村でがん検診を受診できます。詳しくは、市町村がん検診担当課へお問い合わせください。

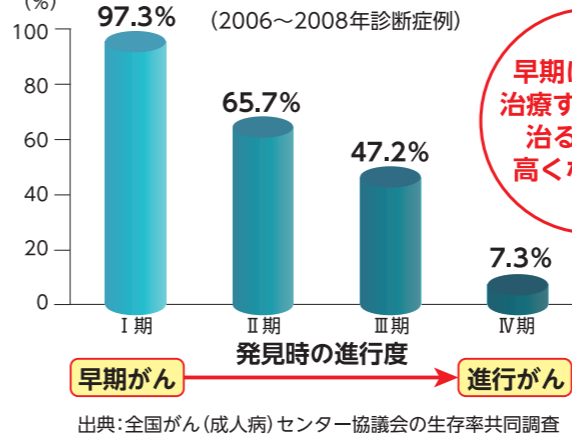
がん検診の流れ



がん検診受診率(全国・和歌山県)



胃がんの進行度別5年相対生存率



セカンドオピニオンを
活用する

治療法の選択肢が複数あることもあります。患者さんが納得のいく治療法を選択できるように、担当医とは別の医療機関の医師に意見を聞くことがセカンドオピニオンです。
 セカンドオピニオンを受ける場合は、担当医に伝え、紹介状などをもらう必要がありますが、利用に悩んだときや手続きなどについて知りたいときは、がん相談支援センター(P7参照)に相談してください。

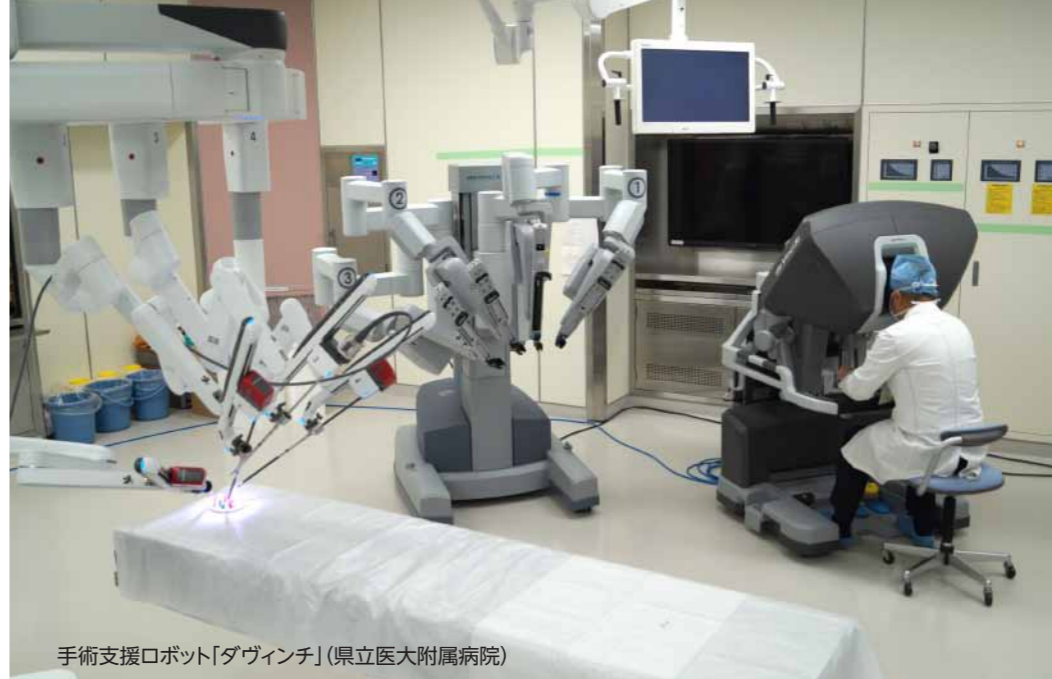
多くのがんは早期に発見し、早期に治療を受けることで、治る確率はぐんと高くなります。例えば、胃がんの場合、早期発見で5年相対生存率は100%近くになりますが、進行したがんでは10%に満たなくなります。自覚症状が出る前にがんを見つけることができるがん検診は、がんによる死亡者を減らす確実な方法です。
 県では、がん検診の受診率70%以上(2023年)を目標に、市町村など関係機関と連携して、受診率の向上に向けた取組を推進するとともに、がん検診の質の向上(精度管理)をより一層推進します。

がんの早期発見・早期治療

※相対生存率とは、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた生存率です。

がん医療の充実

県では、県民の皆さんが住んでいる地域にかかわらず、それぞれのがんの特性に応じて、適切かつ質の高いがん医療や専門相談などを受けられるよう、医療提供体制の整備を進めるとともに、日々進歩するがん医療や多様化する患者ニーズに対応する先進的な医療を推進します。



手術支援ロボット「ダヴィンチ」(県立医大附属病院)

がんと折りあう

患者さんの多くは、治療に伴う身体的な苦痛だけでなく、不安や悩みを抱えており、そのご家族もさまざまな苦痛を抱えています。そのため、患者や家族の相談支援体制の充実を図るとともに、医療・福祉・教育・就労支援などの関係者と連携して、患者さんが住み慣れた地域で生活をするうえで必要な支援を受けることができる環境づくりを進めています。

がん緩和ケアの推進

緩和ケアは、人生の最終段階の時期に行うケアだけでなく、がんが診断されたときから、がんに伴う体と心の痛みを和らげるケアで、患者さんの生活が保たれるように、医学的な側面に限らず、幅広いサポートをしていくことです。

拠点病院や県推進病院などを中心に、引き続きがん診療に緩和ケアを組み入れた体制を整備充実するとともに、がん診療に携わるすべての医療従事者が緩和ケアに関する基本的な知識、技術を身につけることをめざし、県や拠点病院、推進病院などでは、緩和ケア研修会を実施しています。

(平成28年度末現在115回開催・延べ1,832人受講修了)



質の高いがん医療の提供

県では各地域において、高度で専門的ながん医療を提供する「がん診療連携拠点病院」(国指定)と、拠点病院に準じる病院として県が独自に指定した「がん診療連携推進病院」などを中心とした地域の医療機関の連携体制強化を推進しています。また、拠点病院や推進病院では、最先端医療機器を導入するとともに、手術や放射線治療、薬物療法(抗がん剤)などを組み合わせた、質の高いがん治療を行っています。



がん先進医療の治療費補助

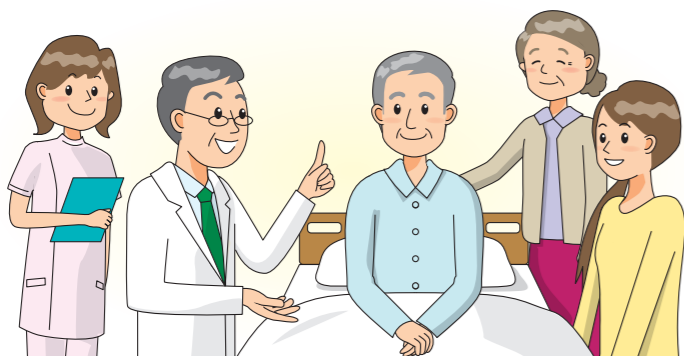
県では、公的医療保険が適用されない先進医療のがん治療(例：重粒子線治療、陽子線治療)を希望するがん患者が、経済的理由により治療をあきらめるといふことがないよう、平成26年から治療にかかる費用の一部を補助しています。

【補助率等】 2分の1以内(限度額150万円)

※詳しくは、県庁健康推進課へお問い合わせください。

がんに関する相談支援

拠点病院と推進病院には、病気・治療に関する相談だけでなく、社会的な問題の相談にも応じる「がん相談支援センター」が設けられています。専門の研修を受けた相談員が、患者や家族だけでなく、医療従事者、地域の方々からのさまざまな質問や相談に対応しています。どなたでもご利用できますので、お気軽にご相談ください。



県立医大附属病院がん相談支援センター 雑賀祐子 認定がん専門相談員

治療にかかる経済的な負担や担当医に聞けなかった些細なことなど、相談内容は多岐にわたります。がん患者の3人に1人は働く世代で、治療と仕事を両立するための支援が必要になってきています。



私たちは、これからも関係機関の皆さんと連携しながら、患者さんがどうしたいのか、患者さんの気持ちに寄り添い、安心して生活を送ることができるよう、その意思決定を支援したいと思っています。

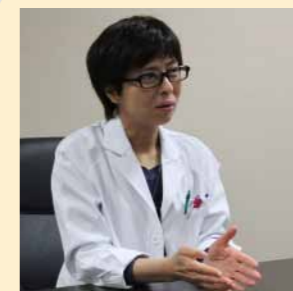
がん相談支援センター

機関名	電話番号	対応時間(平日のみ)
県立医大附属病院	073-441-0778・0779(直通)	9:00~17:00
日赤和歌山医療センター	073-422-4171(代表)内線1125	9:00~17:30
公立那賀病院	0736-78-2340(直通)	8:45~17:00
橋本市民病院	0736-34-6116(直通)	8:30~17:00
紀南病院	0739-22-5118(直通)	8:30~17:15
南和歌山医療センター	0120-92-8160(直通)	8:30~17:15
和歌山労災病院	073-451-3181(代表)	9:00~16:30 (受付は16:00まで)
国保日高総合病院	0738-24-1786(直通)	9:00~16:00
新宮市立医療センター	0735-31-3345(直通)	8:30~17:00

これからのがん医療 —がんゲノム医療—

ゲノムとは、遺伝子「gene」と、すべてを意味する「-ome」を合わせた造語で、DNAに含まれる遺伝情報全体をさします。ゲノム情報は、体をつくるための設計図のようなもので、それらを調べ、一人ひとりの違いを考慮した最善の治療などを行うのがゲノム医療です。

県内では、県立医大附属病院と日赤和歌山医療センターが、「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。



県立医大 内科学第三講座 徳留なほみ 助教

これまで「がん」は、発症する臓器により治療法の選択が行われていました。しかし、研究により一部のがんは、発症する臓器に関わらず、特定の遺伝子に異常が起こることによって発症することがわかってきました。患者さんから採取したがん組織の遺伝子を調べることで、その患者さんにあった治療が受けられる可能性が広がるがんゲノム医療が始まっています。

県立医大では、がんゲノム医療が、より身近なものとなっていくよう取り組んでいます。

はんざいひがいしゃしえん
犯罪被害者支援

①被害者支援無料相談
時・場:(1)5月12日 田辺市民総合センター [相談電話]0739-81-3050
(2)26日 橋本市教育文化会館 [相談電話]0736-39-5035
いずれも土曜 10:00~16:00
②被害者支援活動員養成講座
時:6月9・16・23・30日、7月7日
いずれも土曜
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定・費:30人 [選考] 8,000円
③無料公開講座
時:6月9日(土)
場:情報交流センター Big・U(田辺市)
定:50人 [先着順]
①②③共通
申・問:①電話で面接希望者は前日までに②③持参、郵送、Eメールで所定の申込書(申込先で配布)を5月31日までに紀の国被害者支援センター 〒640-8249和歌山市雑賀屋町1 土地改良会館5階
☎073-427-2100
✉ kvscwakayama@mirror.ocn.ne.jp

ようやくひつきしやようせいこうざ
要約筆記者養成講座
パソコンコース

要約筆記を行うための知識・技術を習得
時:6月3日~平成31年1月27日の日曜全22回
場:和歌山市ふれ愛センター
対:要約筆記の学習が初めてでインターネット環境のある方
定:15人 [抽選]
費:3,600円(テキスト代)
申・問:郵送、電話、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を5月24日までに県聴覚障害者情報センター
〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛6階
☎073-421-6311 FAX073-421-6411
✉ w-mikan@nifty.com
和歌山県聴覚障害者情報センター



だいがくせいとうしんがくきゅうふきん
大学生等進学給付金

平成31年度入学予定の給付希望者を募集
対:保護者(親権者)の市町村民税所得割が非課税、県内へのUターン志望者であるなど
※詳しくは要問合せ
定:40人 [選考]
給付金額:60万円/年(4年間総額240万円)
申:所定の申込書(申込先で配布)を5月31日までに在学
問:県教育庁生涯学習課 [WEB]

きゅうじつ ばいどくそくじつけんさ
休日エイズ・梅毒即日検査

エイズ・梅毒即日検査を実施(プライバシー厳守、無料)
時:6月3日(日) 13:00~16:00
場:①岩出保健所②田辺保健所
定:各10人 [先着順]
申・問:電話で6月1日までに会場(匿名)
①☎0736-61-0023
②☎0739-26-7933

けん し
県ナースセンターからのお知らせ

5月12日は看護の日、5月6~12日は看護週間
①1日まの保健室
健康チェックや健康相談など
時・場:5月6・12・19日に県内9カ所で随時開催
②ふれあい看護体験
看護師業務の体験
時:7月25日~8月9日
場:県内60病院など
対・定:高校生以上 481人 [選考]
申:高校生は学校を通じて、高校生以外は郵送で住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、希望病院(2カ所)、服のサイズ、参加動機、82円切手を5月7~14日に問合先
③ナースディフェスタ和歌山
講師:Wマコト氏(元吉本芸人、放送作家)
時:5月6日(日) 13:00~14:30
場:県看護研修センター(海南市)
定:100人 [先着順]
申:郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号を5月5日までに問合先
①~③共通
問:県ナースセンター
〒642-0017海南市南赤坂17
☎073-483-0234 FAX073-483-1266
✉ wakayama@nurse-center.net
※開催場所など詳しくは要問合せ
和歌山県看護協会

き かわ かせんあいご
紀の川河川愛護モニター

7月1日から1年間、河川の状況を月1回以上報告する方を募集
謝礼:月額4,580円(予定)
対:20歳以上で紀の川からおおむね5km以内に在住の方
定:若干名 [選考]
申・問:郵送、Eメールで住所、氏名、年齢(生年月日)、電話番号、職業、希望する活動範囲、応募理由、モニターになった場合の活動内容、過去のモニター経験についてを6月1日までに和歌山河川国道事務所 〒640-8227和歌山市西汀丁16
☎073-402-0267
✉ kkr-kq-kakan02@mlit.go.jp
和歌山河川国道事務所

わかづらぎょうこうあさいち
和歌浦漁港朝市
ひろば
(おとっとと広場)

鮮魚販売、わかしらす直売、マグロの解体即売、露店、もちまき
時:5月12日(土)10:00~14:00
場:和歌浦漁港内(和歌山市)
問:ベイサイド和歌浦
☎073-446-3308

けんだんじょきょうどうさんかくしんぎかいいん
県男女共同参画審議会委員

業務内容:男女共同参画に関する会議等への出席(年2回程度)
任期:2年(8月~平成32年7月)
対:平成30年4月1日現在、満20歳以上で県内在住・在勤・在学の方
※国または地方公共団体の議員や職員、過去に委員であった方などは除く
定:2人 [選考]
申・問:郵送、Eメールで所定の申込書(申込先、振興局総務課県民課、市町村、WEBサイトなどで配布)に小論文(タイトル「私が考える男女共同参画社会」800字以内)を添えて、5月31日(当日消印有効)までに県庁青少年・男女共同参画課
✉ e0314001@pref.wakayama.lg.jp
[WEB]

けんりついかだいがくじむしょくさいようせつめいかい
県立医科大学事務職採用説明会

時:5月26日(土) 13:00~15:30
場:県立医科大学(和歌山市)
定:150人 [先着順]
申・問:FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を5月23日までに県立医科大学総務課
〒641-8509和歌山市紀三井寺811-1 FAX073-441-0713
✉ soumuka@wakayama-med.ac.jp
和歌山県立医大

こくさいこうりゅう
国際交流フェスティバル

~地域で暮らす外国人との出会いと発見~
時:5月20日(日) 11:00~16:00
場:和歌山ビッグ愛(和歌山市)
問:県国際交流協会
☎073-435-5240
和歌山県国際交流協会

おしらせ

参加者募集・イベント案内など

県庁・県教育庁

☎073-432-4111(代表)
〒640-8585 ○○○課あて
(県庁の住所記入不要)
和歌山県のWEBサイトは
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

各振興局代表電話

海草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-423-3281
那賀	☎0736-63-0100
伊都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有田	☎0737-63-4111
日高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部	☎0735-72-0525
串本支所	☎0735-72-0525
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間 場…場所・会場
対…対象・資格 定…定員 費…費用
申…申込・応募方法 問…問合せ
✉…Eメール
[WEB]…県ウェブサイトでも掲載
🔍…ウェブサイトを検索
*は県庁の敷地内にはありません

そうぎょう
創業セミナー

創業支援の専門家による講演やパネルディスカッション、交流会など
時:6月3日(日)13:30~15:40(交流会は16:30まで)
場:和歌山大学システム工学部(和歌山市)
対・定:これから創業される方や創業して間もない方 80人 [先着順]
申・問:FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を県庁企業振興課 FAX073-424-1199
✉ e0610001@pref.wakayama.lg.jp
[WEB]



きほく せいしやうねん いえ
紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

ホテルのキャンプ

ホテルの探索や観察、野外炊事など
時:6月9日(土)~10日(日)1泊2日
対:小学3~6年生
定:30人 [先着順]
費:4,000円
申:5月26日まで



しらすさ せいしやうねん いえ
白崎青少年の家

〒649-1123 由良町大引961-1
☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352

ふるさと あじづく うめ
古里の味作り(梅ジャム)

梅ジャム作り、パン作り
時:6月24日(日)
対:小学4年生以上または家族
定:10グループ [先着順]
費:1,000円/人+1,000円/グループ
申:6月10日まで

なつ ふうぶつし
夏の風物詩

竹筒流しそうめん、クラフト作り
時:7月1日(日)
定:10家族 [先着順]
費:1,100円/人
申:6月17日まで



*申し込みには、参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などが必要です。
Eメール、FAXで申し込まれた場合は電話で確認してください。詳しくは各施設へ

〇〇青少年の家

児童扶養手当を支給します

- 父子家庭または母子家庭の児童
 - 父母に代わって養育者に養育されている児童
 - 父母が一定の障害の状態にある児童
- などに対し支給されます。
なお、父母または同居人の所得額によっては、手当額の全部あるいは一部が停止される場合があります。
問:市町村、各振興局健康福祉部、県庁子ども未来課

国民生活基礎調査にご協力をお願いします

保健、医療、福祉、年金、所得など国民生活の基礎事項を調査します。6月初旬から7月下旬の間で調査員が対象地区のお宅に伺います。
問:県庁医務課

在宅育児支援事業給付金

多子世帯の0歳児(2カ月を超え1歳未満の乳児)を対象に在宅での育児にも支援が始まります。
対象児が第2子となる場合:一定の所得制限あり
対象児が第3子以降となる場合:所得制限なし
ただし、第1子は対象外となります。
支給額:月額15,000円(最大10カ月で150,000円)
問:各市町村子育て支援担当課
※詳しい支給要件等はお問い合わせください。

不正大麻・けし撲滅運動

「大麻」や麻薬の原料となる「けし」は、法律で所持や栽培が禁止されています。「大麻」や、植えてはいけない「けし」を発見した場合は、県庁薬務課または最寄りの県立保健所、警察署に連絡してください。
問:県庁薬務課 [WEB](#)



5月5～11日は児童福祉週間です

平成30年度 児童福祉週間標語
～あと一步 力になれるよ その思い～
子供の健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。
問:県庁子ども未来課

工業統計調査を実施します

工業統計調査は工業の実態を明らかにすることを目的とした、統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。製造業の事業所を対象に6月1日時点で実施する調査で、調査結果は、中小企業施策や地域振興などの基礎資料として広く利活用されます。調査票へのご回答をお願いします。
問:県庁調査統計課



災害に備えて農業共済の活用

台風や寒害などの自然災害をはじめ、病虫害や鳥獣害などによる農産物被害の損失を補てんする公的保険制度で、掛金の半分は国が支援します。
問:県農業共済組合
☎073-436-0771
県庁経営支援課 [WEB](#)

骨髄バンクドナー登録にご協力を!

もっと身近に骨髄バンクドナー登録できる機会を提供するため、いつでも献血バスで登録ができるようになりました。事前に登録のしおり「チャンス」を読み内容を理解し、登録申込書に必要事項を記入した上署名していることが必要となります。
問:県庁薬務課 [WEB](#)

税務課からのお知らせ

- ①自動車税の納期限は5月31日です
納税はお早めにお近くの金融機関、コンビニなどへ。パソコンなどからクレジットカードでも納税できます。
- ②自動車税の減免
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方が使用する自動車は、名義や障害の程度など一定の要件を満たす場合、申請により減免が受けられます。
問:和歌山県税事務所
☎073-441-3409
紀北県税事務所 ☎0736-61-0067
紀中県税事務所 ☎0737-64-1260
紀南県税事務所 ☎0739-26-7937
[WEB](#)

出張! 減災教室

県内の希望会場にスタッフを派遣し、地震体験車による体験学習などを実施
時:平成31年3月まで(年末年始を除く)
対:学校、職場、町内会など(受講者は原則10名以上)
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(WEBサイトで配布)を希望日の2週間前までに県庁危機管理・消防課 FAX073-422-7652 [WEB](#)

わかやまテレワークフェア

先輩ワーカーとの交流会
時・場:①6月5日(火) 10:00~12:00、13:00~15:00情報交流センター Big・U(田辺市)
②6月6日(水) 10:00~12:00、13:00~15:00プラザホープ(和歌山市)
対・定:育児・介護・療養中で在宅就労を希望されている方など各50名 [先着順](#)
申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、インターネットで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を5月31日までに県庁労働政策課 FAX073-422-5004
☎ e0606001@pref.wakayama.lg.jp
[WEB](#)
※一時保育は要予約

試験 しけん

危険物取扱者

時:7月22日(日) 9:30~
場:和歌山市、新宮市(受験票で通知)
費:甲種 6,500円、乙種 4,500円、丙種 3,600円
願書配布:申込先、県庁危機管理・消防課、振興局総務県民課、市町村、消防本部
申・問:郵送(簡易書留)で5月29日~6月7日(インターネットは5月26日~6月4日17:00まで)に消防試験研究センター和歌山県支部 〒640-8137 和歌山市吹上2-1-22日赤会館6階
[消防試験研究センター](#)

和歌山県優良県産品 プレミア和歌山

『プレミア和歌山』は、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

黒沢牧場和歌山3姉妹アイスクリームギフト

黒沢牧場の牛たちはのびのび放牧育ち。話題のじゃばらと甘酸っぱい三寶柑をミルクと合わせた和歌山ならではの風味豊かなアイスクリームです。
農事組合法人 黒沢牧場
☎073-499-7493



抽選で10名様にプレミア和歌山推奨品「黒沢牧場和歌山3姉妹アイスクリームギフト」(3種類×2個)をプレゼント!

5月21日(月)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミア和歌山プレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問:県庁広報課
☎073-441-2032

[プレミア和歌山](#)



わかやまU・ターン 就職フェアin大阪

県内企業の人事担当者との面談会
時:6月3日(日) 13:00~16:00
場:阪急グランドビル(大阪市)
対:平成31年3月卒業予定の大学、短大、専門学校生、一般求職者
問:県庁労働政策課
[UIわかやま就職ガイド](#)



県公立学校教員採用検査

時:1次 6月下旬~7月下旬
2次 8月下旬
場:紀北地方、紀南地方
受験資格:昭和34年4月2日以降に生まれ、各校種・教科ごとの要件を満たす方
願書配布:申込先、各市町村教育委員会など
申・問:県教育庁学校人事課
※詳しくは検査実施要項を要確認



アビリンピック2018

障害者の職業能力向上と雇用促進をめざした技能競技大会(喫茶サービス、ビルクリーニングなど6種目)
時:6月23日(土) 10:00~16:00
対:4月1日現在、15歳以上で県内在住・在勤・在学の身体・知的・精神障害者
場:ポリテクセンター和歌山(和歌山市)
定:競技ごとに設定
申・問:郵送、FAXで所定の申込書(WEBサイトで配布)を5月21日までに高齢・障害・求職者雇用支援機構和歌山支部
〒640-8483和歌山市園部1276
☎073-462-6900 FAX073-462-6810
[アビリンピック和歌山](#)

物品の購入等に係る競争入札参加資格申請

県が発注する物品購入等の入札に参加するために必要な資格審査申請を受付
※現在資格を持つ方も更新申請が必要
申:郵送、持参で5月1~31日の平日9:30~16:00に県庁総務事務集中課、振興局総務県民課(海草除く)、東牟婁振興局地域振興部申本地区駐在、県警察本部会計課
問:県庁総務事務集中課 [WEB](#)
※詳しくはWEBサイトを要確認

※弁護士や労働委員会委員による相談は、事前の電話予約で先着順となっています。詳しくは、各相談窓口へお問い合わせください。



県民相談 ☎073-441-2356
交通事故相談 ☎073-441-2359

常設相談 場所/県庁県民相談室、
県庁交通事故相談所

相談 日時/要問合せ
場所/西牟婁振興局 ☎0739-26-7903
東牟婁振興局 ☎0735-21-9611

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁県民相談室、県庁交通事故
相談所、振興局、海南保健所、串本町
文化センター

人権全般・同和問題相談
☎073-421-7830

常設相談 場所/県人権啓発センター
(和歌山ビッグ愛2階)

※県庁人権局 ☎073-441-2563、振興
局でも実施しています。

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県人権啓発センター
☎073-435-5420

労働相談

常設相談 ☎073-436-0735
日時/火・水・木・金曜16:00~20:00
土・日曜10:00~16:00

※面接相談は要予約
場所/労働情報センター
(和歌山市北出島1-5-46)

労働委員会委員による月例労働相談
☎073-441-3781
日時/毎月第1・3水曜
場所/県庁労働委員会室

若者総合相談 ☎073-428-0874
☎0736-32-0874
☎0739-24-0874

常設相談 場所/若者サポートステー
ション With You(和歌山・橋本・田辺)

With You 和歌山

福祉サービス相談 ☎073-435-5527

常設相談 場所/県福祉サービス運営
適正化委員会(和歌山ビッグ愛7階 県
社会福祉協議会内)

**「ジョブカフェわかやま」
就職出張相談** ☎073-402-5757

相談 日時/要問合せ(毎月1~2回)
場所/ハローワーク(和歌山・海南を
除く)

ジョブカフェわかやま

子どもと家庭のテレフォン110番
☎073-447-1152

常設相談 日時/毎日24時間

女性・男性相談 ☎073-435-5246

場所/県男女共同参画センター“りいぶる”
(和歌山ビッグ愛9階)

総合相談 電話など(常設、月曜休館)
専門相談 カウンセリング・法律相談
(女性のみ)、男性相談
日時/要問合せ

性暴力被害相談 ☎073-444-0099

常設相談 日時/9:00~21:30
場所/わかやまmine(マイン)

警察相談 ☎#9110

常設相談 日時/毎日24時間
ダイヤル回線の場合 ☎073-432-0110

医療安全相談 ☎073-441-2611

常設相談 場所/県庁医務課
日時/平日9:00~12:00、13:00~16:00
※県立保健所総務健康安全課(串本支
所は保健環境課)でも実施しています。

弁護士による相談 日時/要問合せ
場所/県庁医務課

消費生活相談

常設相談 場所/県消費生活センター
☎073-433-1551 (和歌山ビッグ愛8階)
※土日は電話のみ10:00~16:00
場所/県消費生活センター紀南支所
☎0739-24-0999 (西牟婁振興局内)

外国人相談 ☎073-435-5241

常設相談 日時/【英語】【中国語】
月~日曜(水曜除く)10:00~17:00
【フィリピン語】
月・木・土曜10:00~16:00
※要予約
場所/県国際交流センター
(和歌山ビッグ愛8階)

ハンセン病について

問 県庁健康推進課
☎073-441-2643

ハンセン病とは「らい菌」に感染するこ
とで起る病気です。らい菌は感染力が
弱く、非常にうつりにくい病気です。

過去には、ハンセン病と診断されると、
「らい予防法」という法律により患者を療
養所に強制隔離していたことなどから怖い
病気と誤解され、長い間偏見や差別を受
けてきました。平成8年によつやく法律
が廃止され、国は謝罪や名誉回復を行つて
います。現在では療養所は地域住民に開
かれ、地域との交流も進んでいます。

また、療養所の入所者の平均年齢は85
歳を越えているなか、今後ともハンセン病
の歴史を伝えるために、全国13カ所の国
立の療養所には資料館を開設する動きが
広がっています。

ハンセン病に限らず、病気にかかった
ことで差別されることがあつてはなりま
せん。私たちにできること、それは、ハ
ンセン病について正しい知識と理解を持
つこと。これが差別や偏見をなくす第一
歩なのです。



和歌山県手話言語条例が スタートしました

問 県庁障害福祉課 ☎073-441-2531
FAX 073-432-5567

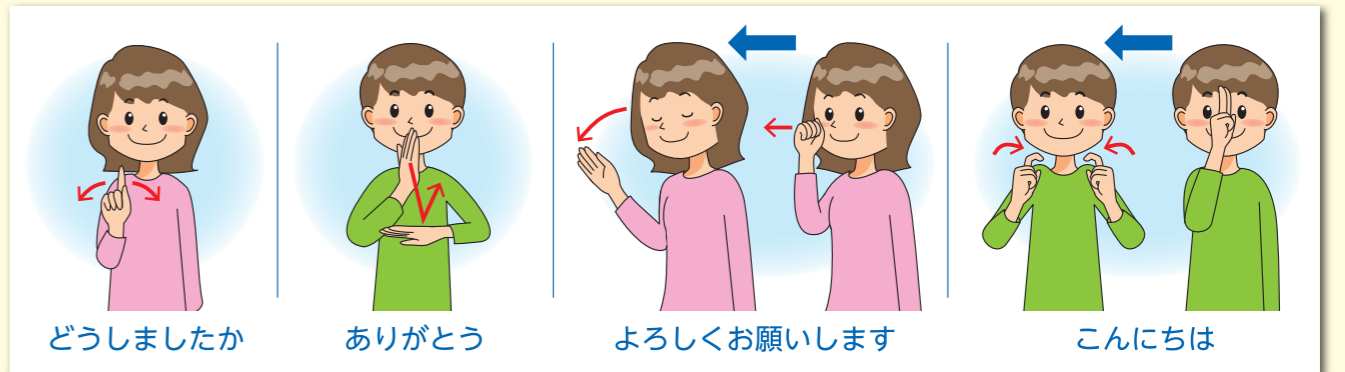
平成29年12月定例県議会において「和歌山県手話言語条例」が議員
提案により制定されました。
県では、手話やろう者に対する県民の理解を深め、手話を習得する
機会の確保や手話を使いやすい環境づくりに努めます。

主な取組

- ・QRコードを活用した動画によ
る手話単語を紹介
- ・「県政おはなし講座」や「あいサ
ポート研修」における手話の普及
- ・手話や筆談を交えて対応できる
よう、県及び市町村職員、事業所
職員対象の手話研修を開催
- ・県聴覚障害者情報センター(和
歌山ビッグ愛6階)において、テ
レホン電話機能を活用した「手話
電話相談サービス」を実施
- ・振興局単位で初めて手話にふれ
る方を対象とする入門講座を開
催
- ・県民向けの連続手話講座を開催

手話講座の受講をきっかけに、手
話に興味を持ち、手話奉仕員(手
話で日常会話ができるレベル)や
手話通訳者(手話で通訳できるレ
ベル)をめざす人を増やします。
※各講座の開催については詳細が
決まり次第、お知らせしますので、
ぜひ、ご参加ください。

※「手話」は聴覚障害のある人
の生活の中から生まれ、受け
継がれてきた言語です。
「ろう者」とは聴覚障害のある
人で、手話を言語として生
活をしている人のことをい
います。



和歌山県PRキャラクター

まいちゃんと

おでかけしよう♪

県立の楽しい施設を訪ねて、わかやまの自然や歴史文化を知ろう！

穏やかな陽気に誘われて花と緑がいっぱいの公園へ。園内に入ると、四季折々の花々が咲き乱れる広大な「パノラマ花壇」が迎えてくれます。「温室」では、熱帯・亜熱帯の色彩豊かな植物に出会い、この時期見頃を迎える「バラ園」には、あたり一面甘い香りが漂っています。

県内の物産品やインテリア小物、花苗などを販売する「紀州ふるさとの店」などもあり一日ゆったり散策できます。そして、大型遊具もある「わんぱく広場」は、子供たちに大人気です。

また、各種イベントや展示会、教室なども多数行われているので、大人から子供まで楽しさ満載の公園へおでかけしませんか。



珍しいサボテンなど約700種の南国の植物が楽しめる温室。



わんぱく広場

県特有種のキシンモツケ(バラ科)の可憐な花も。県のレッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されているんだよ。

プラスワンコラム

ミッキーマウスの木!?

オクナ・セルラータ(オクナ科・オクナ属)
場所:温室 見頃:4月中旬～7月中旬
アフリカ原産の樹木で、緑色の萼がだんだんと赤く染まり、緑の実がふくらんで熟してくると真っ黒に。その形が似ているということで、「ミッキーマウスの木」という別名がつけられているよ。



今回は、花と緑がいっぱいで自然の美しさが楽しめる

県立近代美術館 県立自然博物館 県立図書館 県立動物愛護センター



パノラマ花壇には、愛らしい花々がいっぱい！植物の優しさに心も癒されるワン！

今月の催し

5月の花ごよみ・・・バラ、シャクヤク、ルピナス、キンセンカ

- 📅 石斛・富貴蘭植替え教室 5月12日(土) 13:00～16:00
- 📅 黒潮愛蘭会・春の展示会 5月12日(土)～13日(日)
- 📅 絵手紙展と体験教室 5月12日(土)～20日(日)



- 📅 フラ・フェスティバル 5月13日(日) 10:00～16:00

今月の催し

青字施設 は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生などは入場無料 展 は展示
赤字施設 は入場無料 ※県植物公園緑花センターは15面に掲載 イベント はイベント

けんりつ きんたいびじゅつかん ☎073-436-8690 FAX073-436-1337
県立近代美術館 〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

- 📅 企画展「産業と美術のあいだで 印刷術が拓いた楽園」～6月24日(日)
- 📅 コレクション展2018-春夏 特集「庭園の眺め 高橋力雄の木版画」/「滋賀県立近代美術館所蔵 院展の画家たちⅡ」～7月8日(日)

けんりつ はくぶつかん ☎073-436-8670 FAX073-423-2467
県立博物館 〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

- 📅 特別展「紀伊徳川家 やきもの新時代－富国と栄華の19世紀－」～6月3日(日)
- 📅 企画展「博物館でいきものめぐり」6月9日(土)～7月8日(日)

※4月1日より美術館・博物館の利用者は、駐車場料金が2時間無料となり、最大料金が設定されています。

けんりつ きい ふどき おか ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
県立紀伊風土記の丘 〒640-8301和歌山市岩橋1411
9:00～16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

- 📅 春期企画展「鎌と剣－弥生時代と古墳時代の戦い－」～5月13日(日)
- 📅 前山A58号墳の実物大の埴輪を作ろう② 6月16日(土) 10:00～16:30
対・定:中学生以上15人 先着順
費・申:(初回)350円 5月31日13:00～

けんりつ しぜん はくぶつかん ☎073-483-1777 FAX073-483-2721
県立自然博物館 〒642-0001海南市船尾370-1
9:30～17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)

- 📅 昆虫標本を作ってみよう 5月27日(日) 10:00～15:00
場:大川周辺(和歌山市)
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定・費・申:15人 抽選 500円 5月13日まで
- 📅 身近な昆虫をさがそう 6月2日(土) 10:00～14:00
場:紀伊風土記の丘(和歌山市)
対:小学生以上(小学生は保護者同伴)
定・申:20人 抽選 5月19日まで

かたおなみ こうえんまんようかん ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
片男波公園万葉館 〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700
9:00～17:00(入館は16:30まで)

- 📅 万葉講座「万葉集を楽しもう 紀伊万葉かるた」5月27日(日) 13:30～15:00
対・定・費:18歳以上30人 先着順 500円
- 📅 日曜体験教室「幼児&小学生のはじめての英会話」6月3日(日) 15:00～16:00
対:3歳～小学生(保護者同伴)
定・費・申:20人 先着順 500円 事前申込
- 📅 日曜体験教室「楽しいお手玉教室」6月10日(日) 10:30～12:00、13:00～14:30
対:3歳以上(小学生以下は保護者同伴)
定:各20人 先着順
費・申:500円 事前申込



けんりつ としょかん ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
県立図書館 〒641-0051和歌山市西高松1-7-38
閲覧室 平日9:00～19:00(土日祝は18:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、毎月第2木曜

- 県立図書館・紀南図書館の休館
5月22日(火)～6月1日(金)、資料点検のために休館します。
※文化情報センターは、5月31日(木)から利用できます。
- 📅 ボランティアによる「おはなし会」5月12・19日、6月9日(土) 14:00～6月2日(土) 11:00～
- 📅 ダニエル・オッテンザマー クラリネットリサイタル 5月23日(水) 19:00～21:00
定:250名 先着順
費:4,000円(前売3,000円) ※乳幼児は入場不可

けんどうぶつ あいご ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
県動物愛護センター 〒640-1251紀美野町国木原372
10:00～17:00 休館/火曜

- 📅 犬・猫の飼い方講習会 5月10日(木)・13日(日)・20日(日)・27日(日) 11:00～6月2日(土)・10日(日)・24日(日) 11:00～
※譲渡会は常時開催しています。譲渡を受けるには受講と、犬の場合は狂犬病予防注射代2,640円が必要です。

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
5月 6日 手話条例の制定
5月13日 紀の国いきいき健康長寿祭
5月20日 悪徳商法から身を守るために
5月27日 知事と語る

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜 19:30~19:59

ラジオ 和歌山放送 WBS
県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

統合型リゾート(IR)
シンポジウム

県民の皆様へ IR 導入の効果に関する正しい情報を提供するため、シンポジウムを開催します。

プログラム

- 基調講演
篠原文也氏 (政治解説者)
- パネルディスカッション
[テーマ] IR 導入におけるメリットの最大化とデメリットの最小化



日時: 5月19日(土) 13:00~16:00
場所: ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市)
定員: 300人 (先着順)
申込・問合せ: ハガキ、電話、FAX、Eメールで氏名、電話番号を5月17日までに 県庁企画総務課 FAX073-422-1812
☑ e0201001@pref.wakayama.lg.jp [WEB](http://www.pref.wakayama.lg.jp/)

☑ 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



君死にたまふことなかれ

有名な与謝野晶子さんの言葉です。日露戦争時、国民がロシア憎しで大変好戦的になっている時、それでも若者を死に追いやってはいけないという反戦のメッセージだったと思います。私はこの言葉を自殺者が出たという報に接した時に思います。つい最近も近畿財務局の職員が自殺したとのニュースを見た時思いました。きっと名状すべからざる辛い状況にあったが故のことと思いますが、自ら命を絶つ以外の途はなかったものかと暗たんとなります。

実は和歌山県は日本全体の平均よりも自殺死亡率の高い県なのです。高齢者も多いのですが、最近では若者の自殺も増えています。これは断然良くないことですから、目下県では『自殺対策計画』を考えて、何とか問題を抱えている人に生き抜いてもらおうとしています。いじめ、不登校への対応、相談体制の充実、経済的困窮者対策、精神保健医療サービスの体制整備、それに自殺未遂者への支援体制整備など多岐にわたりますが、さらに白浜で自殺を思い留まらそうという運動にずっと携わっている藤藪庸一さんのグループなど、多くの市民活動の方々とも協力していかなければなりません。

私自身人生の本当の修羅場をくぐり抜けてきたか疑問ですから偉そうなことは言えないのですが、高校生の諸君に講演をする時など、和歌山の宝物であるこの子達に万一のことが起きてはいけないと、いつも3つのことを言うことにしています。

一つめは「日々の感激に生きよう。」辛い事が続く中にも小さな喜びはあるはずだということです。

二つめは「いつか終わる。」絶望的になるような辛い事が続いても、それは、いつか終わるからということです。

そして三つめは「まあいいか。」失敗してくよくよしてつぶれるな、また別の良いことがあるよということです。

和歌山県知事 仁坂 吉伸